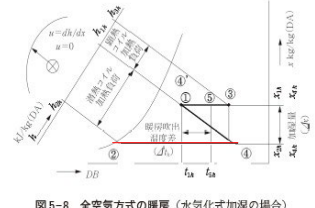
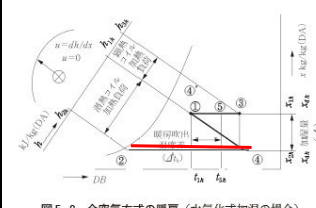


令和6年版 建築設備設計基準の正誤表について

設備設計基準 第1刷用正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正	更新日
368	4	1	2-2-7	その他の内部発熱負	技術資料	・一般事務室P1=15kWの例 ・一般事務室P1=30kWの例	・一般事務室P1=15Wの例 ・一般事務室P1=30Wの例	
385	4	1	2-2-11	選定図表(4)ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	表2-15 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	高松、福岡、那覇 (別表参照) ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	R61119
387	4	1	2-2-11	選定図表(5)夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	表2-16 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	高松、福岡、那覇 (別表参照) 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	R61119
387	4	1	2-2-11	選定図表(5)夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	表2-16 那覇	那覇 壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段) 方位 E 時刻9 0.09	(別表参照) 壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段) 方位 E 時刻9 -0.05 方位 E 時刻9 -1.10 方位 E 時刻9 -2.78	R70619
460	4	1	4-3	計算式	表4-4 排ガス等の平均密度	煙道 気体燃料口 ρ _f = 353 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _f)□	煙道 気体燃料口 ρ _f = 358 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _f)□	R70731
						煙突 気体燃料口 ρ _f = 353 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _f)□	煙突 気体燃料口 ρ _f = 358 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _f)□	R70731
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙道欄	摩擦抵抗h _{f1} 局部抵抗 h _{f1} h _{f1} =λ・L/ρ _f V _f ² /2・ρ _f	摩擦抵抗h _{f1} 局部抵抗 h _{f2} h _{f1} =λ・L/D _f ・V _f ² /2・ρ _f	R61119
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙突欄	摩擦抵抗h _{g1} 局部抵抗 h ₄ h _{g1} =λ・H _g /D _g ・V _g ² /2・ρ _g	摩擦抵抗h _{g1} 局部抵抗 h _g h _{g1} =λ・H _g /D _g ・V _g ² /2・ρ _g	
460	4	1	4-3	計算式	-3	V=・・・[m ³ /m ³] (表4-2参照)	V=・・・[m ³ /m ³]	
470	4	1	5-1-5	空調機機の選定	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房 (水気化式加湿の場合)	コンパクト形空調機機の選定は、表5-6～表5-10 による。	コンパクト形空調機機の諸元値は、表5-6～表5-10 による。	
478	4	1	5-2-3	潜熱・顕熱分離形の空調機機の空気線図の作図方法	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房 (水気化式加湿の場合) ②ー④の線細線→太線			
482	4	1	5-3-4	諸元表(1)	表5-12 ファンコイルユニットの諸元 (冷・温水出入口温度差7℃)	入力値 [VA]	電源容量 [VA]	
521	4	1	7-4	床置形全熱交換ユニットの算定	表7-3(b) 床置形全熱交換ユニット(静止形)の顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	(別表参照) 顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	R61202
523	4	1	7-6	計算式	図7-2全熱交換器概念図(回転型の例)	排気 (RA)	排気 (EA)	R61202
565	4	3	(2)	送風機全圧		P1=K・Σ△P ₁ +ΣP ₁	P1=K・(Σ△P ₁ +ΣP ₁)	R61119
641	5	2	2=2	技術資料	表1の記載変更 下部に文章追加	表1に掲載の総合病院及び学校施設欄の記載文の削除	表1に総合病院及び学校施設欄に※を記載。 表下部に※：空気調和・衛生工学会の提言で、「ネットゼロウォーターの実現に向けて一水の新しい単位給水量―」の「総合病院」、「学校(小・中学校、高等学校)」が10月28日に学会HPで公表されました。 https://www.shasej.org/oshirase/2410/nZWB.html	

技術資料

2-2 表 2-1

参考として、庁舎以外の用途の1人当たり使用水量・使用時間を表1に示す(出典は、空気調和・衛生工学便覧 第11版(1987年)～第14版(2010年))。現在では、節水が進み、例えば大便器の洗浄水量は50%以上削減(図1)されている。

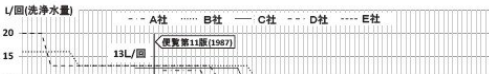
このため、庁舎以外の建物用途を設計する場合は、この表によるほか、設計者が計画建物の使用条件を把握し選定した衛生器具の洗浄水量を元に、最新の1人当たり使用水量・使用時間の使用実績等の情報を入力・参照して、設計者の判断で使用水量を決定されたい。

表1 建築物の用途による1人当たり使用水量・使用時間(庁舎以外)

建築物用途	使用者種別	使用量算出方法*	1人1日平均 使用水量 [L/(人・日)]	1日平均 使用時間 [h]	備 考
戸建て住宅 集合住宅 独居寮		住戸者1人当たり 有効面積当たりの人員 0.16人/m ²	200～400 200～250 400～600	10 15 10	
総合病院	※				
宿泊施設 研修所		床敷数	250～450	12	
商業		客数 店舗面積1m ² 当たり	20～50 55～120	10	網際で使用される水量のみ
飲食店		客数 店舗面積1m ² 当たり	55～120 110～230	10	便所洗浄水などは別途加算する。
社員食堂		食数 食堂面積1m ² 当たり	25～50 80～140	10	
学校施設	※				
図書館		閲覧者1人当たり 有効面積当たりの人員 0.6人/m ²	25	6	実験・研究用は別途加算する。 常勤者分は別途加算する。

出典：空気調和・衛生工学便覧 第11版(昭和62年(1987年))より作成

※：2024年10月25日に空気調和・衛生工学会提言「ネットゼロウォーターの実現に向けて一水の新しい単位給水量―」が公表されました。提言において対象とする建築用途の「総合病院」、「学校(小・中学校、高等学校)」を給水負荷計算の参考とされたい。<https://www.shasej.org/oshirase/2410/nZWB.html>



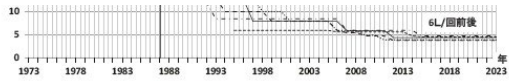


図1 節水大便器の1回当たりの洗浄水量の変遷

出典：給排水衛生設備計画の実務の知識 改訂4版（2017年）（一般社団法人）日本レ
ストルーム工業会資料から、現在のデータを追記

661	5	2	7-2	表7-4	局部抵抗名称欄	玉形弁 *2	アングル弁・ 逆止弁 スイング型	玉形弁 *1	アングル弁・ 逆止弁 スイング型 *2	R70110
711	5	5	3-1	表1-3	告示区分 第12 処理性能欄	大腸菌群数	(個/㎡)	大腸菌群数	(個/cm³)	R70203
745	5	6	6-1	一般事項	(3)	②閉鎖型	ヘッドによる・・・	②開放型	ヘッドによる・・・	
891	8	1	1-1	構成等	(3) ⑦エ記録 (印字) 装置	・・・。	ただし、監視操作装置に・・・	・・・。	ただし、簡易形監視操作装置に・・・	

別 表

385		4		1		2-2-11		表2-15 ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位 (7月31日) [W/㎡]														R61119							
地区		高				松		地区		福		岡		地区		那		覇											
時刻		9		12		14		16		時刻		9		12		14		16		時刻		9		12		14		16	
太陽高度		45.0		73.9		60.8		36.8		太陽高度		42.1		73.8		63.9		39.9		太陽高度		39.9		78.7		69.0		42.3	
太陽方位		-81.8		-8.6		63.9		88.1		太陽方位		-84.9		-21.5		60.5		86.5		太陽方位		-92.7		-48.2		72.5		91.6	
方位	日陰	48		51		50		44		方位	日陰	48		51		49		44		方位	日陰	48		50		49		44	
	水平	549		801		716		452			水平	510		801		744		497			水平	480		822		785		532	
	N	48		51		50		44			N	48		51		49		44			N	50		50		49		45	
	NNE	99		51		50		44			NNE	126		51		49		44			NNE	198		50		49		44	
	NE	288		51		50		44			NE	322		51		49		44			NE	382		51		49		44	
	ENE	432		51		50		44			ENE	453		51		49		44			ENE	483		64		49		44	
	E	496		54		50		44			E	507		71		49		44			E	512		91		49		44	
	ESE	486		90		50		44			ESE	487		120		49		44			ESE	466		114		49		44	
	SE	402		141		50		44			SE	393		165		49		44			SE	345		122		49		44	
	SSE	236		177		51		44			SSE	216		184		55		44			SSE	149		109		49		44	
	S	66		181		131		45			S	55		168		134		48			S	48		83		71		44	
	SSW	48		151		257		201			SSW	48		124		243		212			SSW	48		59		145		158	
	SW	48		101		343		398			SW	48		74		314		406			SW	48		50		219		364	
	WSW	48		59		365		508			WSW	48		51		325		511			WSW	48		50		255		489	
	W	48		51		322		542			W	48		51		276		539			W	48		50		241		534	
	WNW	48		51		218		494			WNW	48		51		176		487			WNW	48		50		181		500	
	NW	48		51		96		371			NW	48		51		75		355			NW	48		50		101		387	
	NNW	48		51		50		163			NNW	48		51		49		144			NNW	48		50		51		188	

387	4	1	2-2-11	表2-16 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)														R61119
-----	---	---	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------

地区高松		地区福岡				地区那覇							
時刻		9	12	14	16	9	12	14	16	9	12	14	16
方位	N									17.77			
										21.24			
	NNE	4.05				3.02				1.96			
		3.93				3.19				2.13			
	NE	1.67				1.41				1.13	89.77		
		1.34				1.20				0.91	17.94		
	ENE	1.16				1.02				0.89	11.52		
		0.59				0.52				0.36	2.08		
	E	1.01	23.09			0.91	9.40			0.84	6.70		
		0.14	6.59			0.09	2.53			0.09	0.89		
	ESE	1.03	6.70			0.95	4.97			0.92	5.29		
		-0.25	1.66			-0.31	1.03			-0.47	0.35		
	SE	1.25	4.30			1.18	3.76			1.24	5.00		
		-0.75	0.74			-0.84	0.43				-0.06		
	SSE	1.96	3.57	28.74		1.95	3.45	16.61		2.47	5.54		
		-1.68	0.25	16.02		-1.91	0.02	8.09			-0.48		
	S	7.00	3.50	4.07	22.08	10.14	3.71	4.13	13.67		7.49	8.67	
		-6.93	-0.15	2.04	29.48	-11.19	-0.39	1.76	16.33		-1.12	3.18	
	SSW		4.05	2.39	1.81		4.80	2.58	1.91		15.11	4.05	2.55
			-0.60	0.88	2.20		-0.97	0.78	2.05		-2.85	1.19	2.61
	SW		5.84	1.89	1.02		8.67	2.11	1.12			2.94	1.33
			-1.36	0.34	0.93		-2.30	0.28	0.88			0.52	1.06
	WSW		14.45	1.79	0.80		204.81	2.05	0.88			2.61	1.00
			-4.05	-0.06	0.38		-59.34	-0.12	0.34			0.09	0.45
	W			1.99	0.75			2.34	0.84			2.73	0.91
				-0.49	-0.03			-0.57	-0.06			-0.31	0.03
	WNW			2.71	0.82			3.31	0.93			3.40	0.98
				-1.13	-0.45			-1.28	-0.49			-0.84	-0.38
	NW			5.52	1.10			7.65	1.26			5.63	1.26
				-2.92	-1.07			-3.62	-1.13			-1.92	-0.95
	NNW				2.13				2.57			29.70	2.23
					-2.67				-2.91			-11.37	-2.24

521	4	1	7-4	表7-3(b) 床置形全熱交換ユニット(静止形)の顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h														R61202
-----	---	---	-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------

		風量比(給気風量/排気風量)			
		0.8	1	1.2	1.5
顕熱交換 効率[%]	冷 房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖 房	64.0	60.0	55.5	50.0
全熱交換 効率[%]	冷 房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖 房	64.0	60.0	55.5	50.0
備考(1)		給気は機器定格風量とする。			
(2)		顕熱交換効率及び全熱交換効率はJIS B 8628 による。			

地区		那覇			
地時	刻	9	12	14	16
方位	N	17.77			
		21.24			
	NNE	1.96			
		2.13			
	NE	1.13	89.77		
		0.91	17.94		
	ENE	0.89	11.52		
		0.36	2.08		
	E	0.84	6.70		
		0.09	0.89		
	ESE	0.92	5.29		
		-0.47	0.35		
	SE	1.24	5.00		
			-0.06		
	SSE	2.47	5.54		
			-0.48		
	S		7.49	8.67	
			-1.12	3.18	
	SSW		15.11	4.05	2.55
			-2.85	1.19	2.61
	SW			2.94	1.33
				0.52	1.06
	WSW			2.61	1.00
				0.09	0.45
	W			2.73	0.91
				-0.31	0.03
	WNW			3.40	0.98
				-0.84	-0.38
	NW			5.63	1.26
				-1.92	-0.95
	NNW			29.70	2.23
				-11.37	-2.24



地区		那覇			
地時	刻	9	12	14	16
方位	N	17.77			
		21.24			
	NNE	1.96			
		2.13			
	NE	1.13	89.77		
		0.91	17.94		
	ENE	0.89	11.52		
		0.36	2.08		
	E	0.84	6.70		
		-0.05	0.89		
	ESE	0.92	5.29		
		-0.47	0.35		
	SE	1.24	5.00		
		-1.10	-0.06		
	SSE	2.47	5.54		
		-2.78	-0.48		
	S		7.49	8.67	
			-1.12	3.18	
	SSW		15.11	4.05	2.55
			-2.85	1.19	2.61
	SW			2.94	1.33
				0.52	1.06
	WSW			2.61	1.00
				0.09	0.45
	W			2.73	0.91
				-0.31	0.03
	WNW			3.40	0.98
				-0.84	-0.38
	NW			5.63	1.26
				-1.92	-0.95
	NNW			29.70	2.23
				-11.37	-2.24